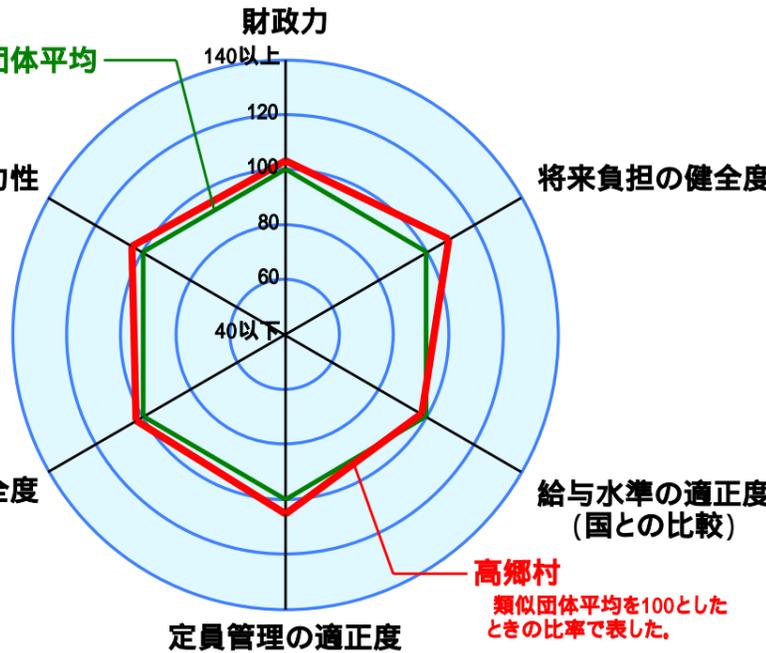


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 高郷村

人口	2,501人(H17.3.31現在)
面積	44.84 km ²
歳入総額	2,201,294 千円
歳出総額	2,158,954 千円
実質収支	42,153 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 長引く景気の低迷により村民税は年々減収となっている。しかし、固定資産税の大規模償却資産(発電施設4箇所)により、類似団体の平均値より0.03ポイント上回っている。

経常収支比率: 平成16年度に、地域総合整備事業債146,000千円、減税補てん債30,600千円の借り換えを実施、また特別職・職員の人件費を削減したことにより類似団体より3.4ポイント下回っており、市町村合併後も経常経費の削減等に努めていかなければならない。

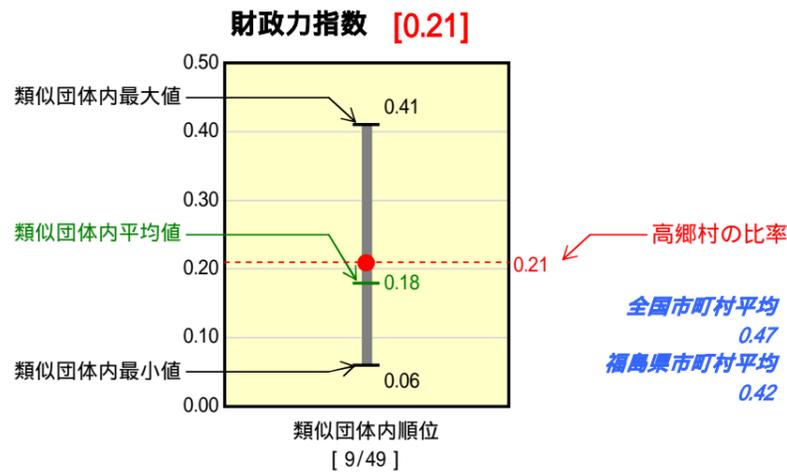
起債制限比率: 類似団体の8.2を下回る7.1となっており、近年の起債抑制策の効果によって比率は低下傾向にあり、適正な起債管理に努めている。

人口1人あたり地方債残高: 類似団体の1,584,269円と比較すると1,083,247円とかなり下回っているが、県内市町村441,401円と比較すると大幅に上回っている。主な要因は、農業集落排水処理事業債(平成3~15年度)である。

ラスパイレス指数: 類似団体の92.4を上回る93.6と1.2ポイント上回っているが、18年1月4日に5市町村が合併し新喜多方市となり、新市において給与水準の適正化に努める。

人口1,000人あたり職員数: 類似団体の24.32人を下回る21.19人となっているが、保育所が2箇所(職員9名)設置されていること等から全国平均・県平均より多くなっている。

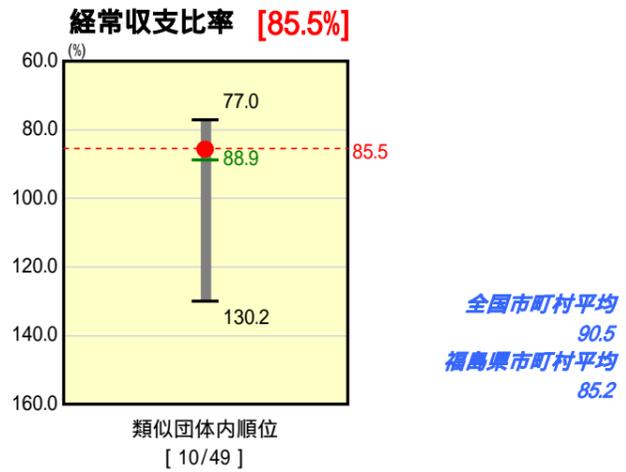
財政力



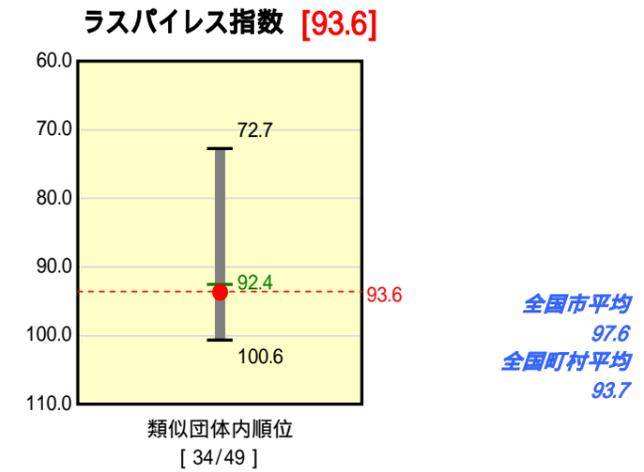
将来負担の健全度



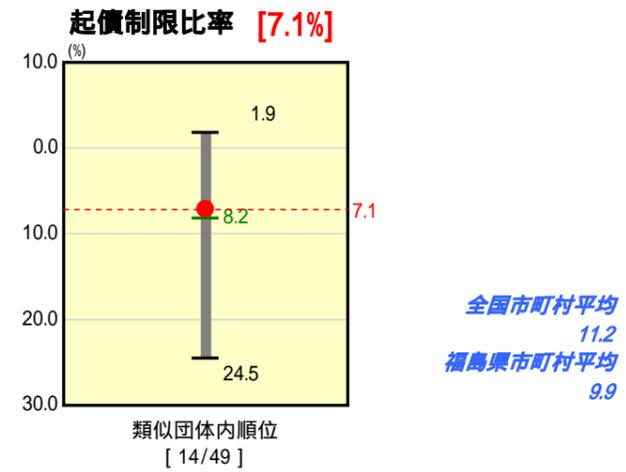
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

